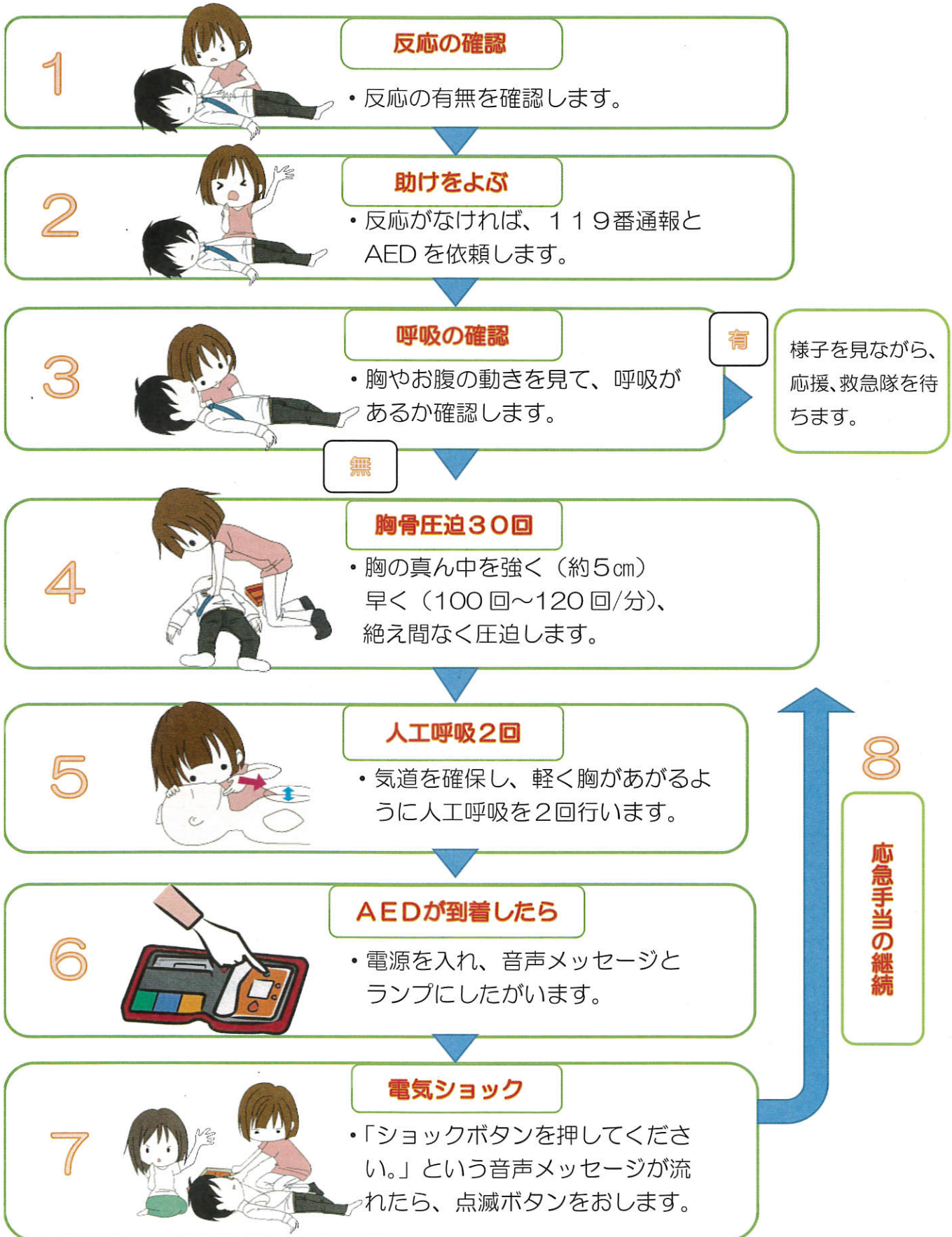


○応急手当のながれ



1 反応の確認

- ・まわりの安全を確認します。
- ・両肩をたたきながら、大きな声で呼びかけます。

ただし、乳児（1才未満）の場合において、母親や保育所職員など日常的に乳児に接している方は、足首を支えて足の裏をたたきながら呼びかけます。

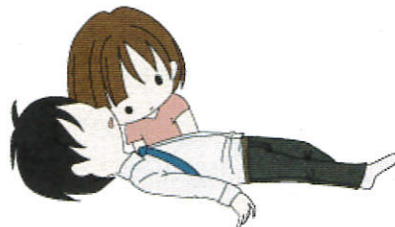
2 助けをよぶ

- ・反応がない場合は、大きな声で助けを呼びます。
- ・119番通報とAEDを依頼します。



3 呼吸の確認

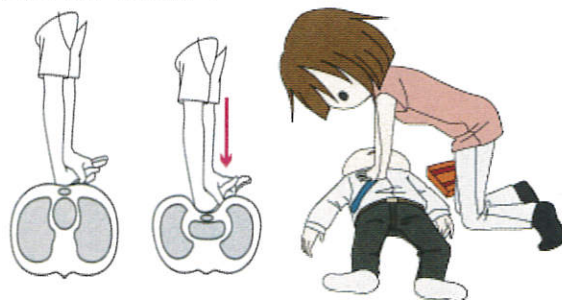
- ・10秒以内で確認します。
- ・胸、お腹の動きを見て、「普段どおりの呼吸」があるかを見てください。
- ・しゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸は、「呼吸なし」と判断してください。
- ・判断に迷うような場合も、「呼吸なし」と判断してください。



4 胸骨圧迫

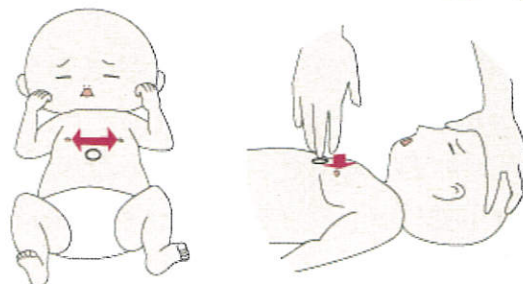
○成人（小児・乳児以外）・小児（1才～およそ中学生まで）の場合

- ・胸の真ん中に両方の手のひらの付け根を重ねて、両肘をまっすぐに伸ばし真上から圧迫します。
- ・1分間に100回～120回の速さで、胸が約5cm（小児は胸の厚さの約1/3）沈むまでしっかり圧迫します。



○乳児の場合

- ・胸の真ん中で乳頭を結んだ線の少し足側を指2本を使って圧迫します。
- ・1分間に100回～120回の速さで、胸の厚さの約3分の1までしっかり圧迫します。

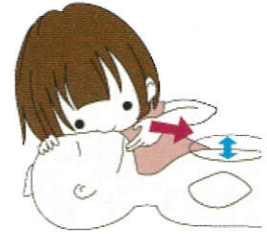


○注意点

- ・血液の流れを止めないように、絶え間ない胸骨圧迫を行ってください。
- ・胸を押した後は、胸を元の高さまで戻すようにしてください。

5 人工呼吸

- 頭を下げ、あごを上げて気道を確保したら、指で鼻をつまみ、息を約1秒かけて吹き込みます。
- 胸が軽く上がったたら、いったん口を離し、もう1回吹き込みます。
- 感染防護具がない場合や人工呼吸がためられる場合には胸骨圧迫のみを行ってください。



6 AEDが到着したら

○到着したら

- 最優先で使用します。
- 速やかに電源を入れて、音声メッセージとランプのとおり操作してください。



○電極パッドの装着

- 胸の右上側と胸の左下側に貼り付けます。(パッドや袋に表示あり)
- 電気を効果的に流すために、しっかりと皮膚に密着させてください。
- 汗などの水気はふき取り、貼り薬をはがしてください。
- 心臓ペースメーカーがあれば、離して貼ってください。

○心電図の解析

- AEDによる心電図解析が開始されたら、音声メッセージに従って傷病者から離れてください。



7 電気ショック

- 「ショックが必要です。」などの音声メッセージがあれば、傷病者に誰も触れていないことを確認してショックボタン(点滅ボタン)を押します。
- 電気ショックが終わったら直ちに心肺蘇生を再開し、その後もAEDの音声メッセージに従ってください。

○小学校入学前の子どもへの電気ショック

- 0才～小学校入学前までの子どもに対しては、小児用パッドまたは小児用モードで作動しているAEDを使用します。
- 小児用パッドや小児用モードがない場合は、成人用パッドを使用します。

8 応急手当の継続

- 救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に普段どおりの呼吸や目的のあるしぐさが認められるまで心肺蘇生を継続してください。
- AEDを装着している場合は、電源を切らず電極パッドを貼ったままで救急隊に引き継いでください。